



青少年発！
私たちの地域づくり！

2024.2.4 (SUN)
西条市中央公民館

第7回 地域教育実践 東予ブロック集会

令和5年度愛媛県NPO法人活動助成事業 助成対象

- 主催 ● 地域教育実践ネットワークえひめ
- 協力 ● NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構
- 後援 ● 文部科学省/愛媛県/愛媛県教育委員会/「えひめ教育の日」推進会議/愛媛県教育研究協議会

青少年発！ 私たちの地域づくり
かかわりをチカラに つながりカタチに

第7回地域教育実践東予ブロック集会実行委員会
実行委員長 今井 博志

国立大洲青少年交流の家で毎年開催される「地域教育実践交流集会」に出会ったのは、「愛媛のおやじ井戸端会議」という愛媛県のおやじの会の活動を愛媛県教育委員会社会教育課が担当していたのがきっかけです。「愛媛のおやじ井戸端会議」は、年に一回、県内外のおやじの会のメンバーが集まって行う、自分たちの活動の報告や子どもたちとのかかわり方（ゲームや工作など）の実践発表・披露の場、そして交流の場（飲みにケーション）でもあります。そんなおやじたちを「地域教育実践交流集会」分散会の司会に推薦してください、おやじたちなりの挑戦もありました。その集会では様々な地域での実践活動報告を聞くことができ、自分たちの地域でどのように実践すればよいか真剣に考える場となり、そこで出会った人とのつながりで新たな活動も始まりました。

小松の地域づくりの活動も取り上げていただいた冊子『生き抜く力を育てるためにー地域教育のすすめー』の中で、讃岐幸治先生が、「何が起こるか分からない社会では、これまでの常識や経験が通じない。頼りにできる手本や先例がない社会だ」といい、『こんな風に生きたら安全だ』という信頼できるサクセスモデルはない。こうした海図なき航路の社会を生き抜いていくためには、どうしたらいいのか。モデルや先例がない社会を生き抜いていくためには、自分自身の力で自らすすんでいく道を切り開いていくしかない。自らの人生は自らの力で切り拓いていく力を身につけるしかない」と書かれています。そして、身につけていく必要がある力として、①自分もやれるという「**挑戦力**」、②納得解を求めての「**課題探求力**」、③困難に立ち向かう「**チーム力**」、④社会の担い手としての「**社会貢献力**」だと言っておられます。

地域ぐるみで子どもを育てる社会が必要となっています。地域教育実践東予ブロック集会も今年で7回目を迎えます。「青少年発！私たちの地域づくり 『かかわりをチカラに つながりカタチに』」を合言葉に、地域活動に取り組む高校生の実践発表があります。そのシンポジウムでは、「Z世代」（1996ー2012年に生まれた世代）と呼ばれている高校生たちが、今の社会をどのように感じながら活動をしているのか？これからの地域の未来をどのようにしていきたいのか？そんな話が聞けると思います。また、後半のワークショップでは、様々な年代の人と「ミライのガッコウ」について本音で話合いができればと思っています。

本日の集会が、参加してくださった皆さんの新たな第一歩のきっかけとなれば幸いです。

集会趣旨

これまで県内では、各地の地域活動者・各グループが互いに交流を深め、地域の教育力を高め合ってきました。

本集会では、東予地域で地域活動に取り組む青少年の実践を中心に、「かかわりをチカラに、つながりをカタチに」を合言葉として、若者と共に拓く地域づくりについて考えます。

みんなで、地域教育に関わる者のつながりを広げていきましょう。

日 程

12:00～	○ 受 付
12:30～12:45	○ 歓迎アトラクション（資料3～4ページに掲載） 今治工業高等学校
12:50～13:05	○ 開会行事 開会挨拶
13:05～14:05	○ シンポジウム（資料5～8ページに掲載） 「若い力と地域を動かす！」 ・丹原高等学校 ・今治東中等教育学校SFキーパーズ ☆コーディネーター：実行委員 西山 博
14:05～14:20	休 憩
14:20～15:50	○ ワークショップ 「 みんなで描く！ミライのガッコウ 」 ☆ファシリテーター：実行委員 関 福生
15:50～16:00	○ 閉会行事 閉会挨拶

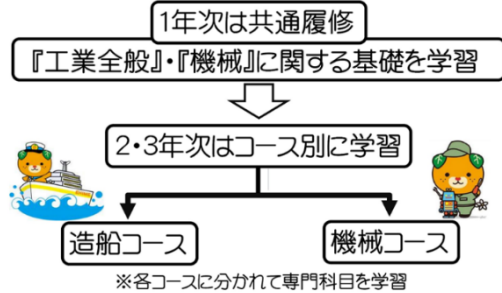
機 械 造 船 科



機械造船科

…機械や造船の基礎・基本を身に付けるとともに、設計から組立までの総合的な視点でものづくりができる人材を育成することを目標としています。

1年次は共通の科目を学習し、2年次に造船コース・機械コースに分かれ、それぞれ専門科目の学習を行います。特に造船コースでは、匠の技教室等の地域の方々から学ぶ機会を多く設け、地学地就(地域から学び地域に就職し地域に貢献する)を推進しています。



造 船 課 程



ぎょう鉄実習



船体模型の製作



小型船殻ブロックの製作



回流水槽模型の製作と実験

機 械 課 程



旋盤実習



溶接実習



マシニングセンタ実習



鍛造実習



フライス盤実習

機械造船部

機械造船部は、溶接とロボット相撲、ロボット競技の3つの種目で全国大会を目指して頑張っています。本日はそのロボットの美演を行い、ものづくりの楽しさを見ていただきたいと思います。

溶接 今年度の溶接甲子園四国大会では、団体優勝と個人で最優秀賞(1位)を受賞し、個人戦で全国大会へ出場しました。

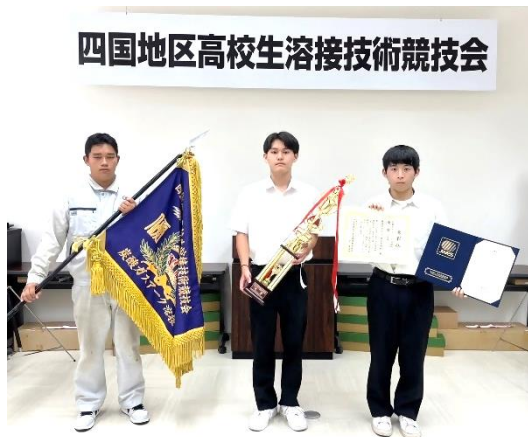


写真1 溶接甲子園の様子

ロボット相撲 今年度は、高校生ロボット相撲全国大会 2023 に自立型 2 台が出場、全日本ロボット相撲全国大会2023には1台が出場しました。

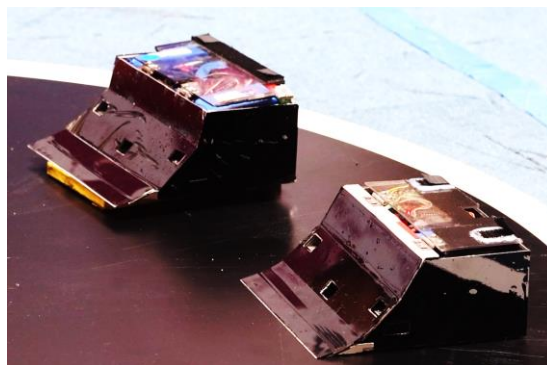


写真2 ロボット相撲の様子

ロボット競技 愛媛県大会に2台が出場しましたが、惜しくも全国大会への出場権は得られませんでした。来年度の全国大会出場に向けて頑張っています。

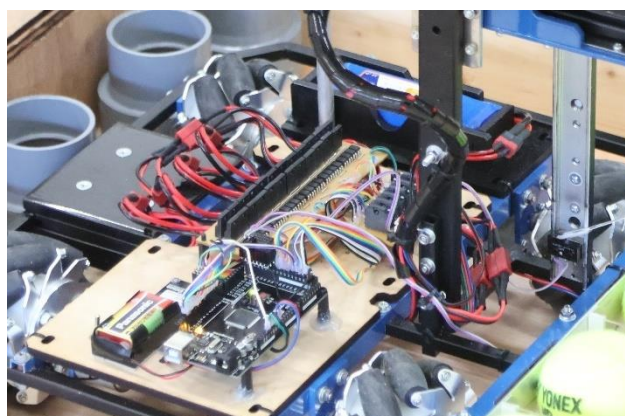
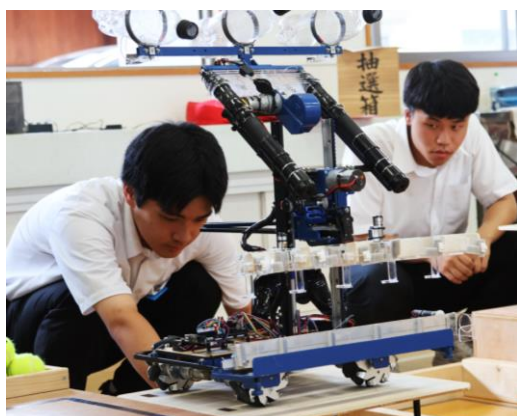



写真3 ロボット競技の様子




“やってみたい”の創造へ

丹原高校は、“地域に近い 先生に近い 海外に近い”をキャッチフレーズに掲げ、「丹原をおもしろく！」を謳ったプロジェクト「tanomo」を展開してきました。プロジェクト「tanomo」とは、みんなの中に“やってみたい”を生み出し、実現につなげる取組です。私たちは「tanomo」を合言葉に、生徒と教職員、そして地域社会とともに様々なプロジェクトに挑戦しています。一つ一つは小さなプロジェクトかもしれませんが、その小さなプロジェクトの集合体が学校や地域、社会を良くすると考えています。


PROJECT CONCEPT (プロジェクトで大切にすること)



自分の“やってみたい”を見つけ、声に出すこと



誰かの“やってみたい”を応援すること



ヒト・モノ・コト(地域資源)との出会いを大切にし、活かすこと



課題への挑戦を楽しみ、ジブンゴト化すること

APPROACH (“やってみたい”を生み出す取組)

学校の様々な取組や成果の情報を共有し、互いの活動に注目できる環境づくり!



t-timeなどの学びの場で「聴く」「考える」「伝える」のトレーニング!



(~R4) 情報課 → (R5~) 情報・企画課を設置し、“やってみたい”の窓口にし!



“やってみたい”の実現を目指して、リソースの確保に!



PROJECT INTRODUCTION

(テーマ)	t-time (総合的な探究の時間)	ルールメイキングプロジェクト	丹原七夕夜市プロジェクト
(内容)	<p>総合的な探究の時間</p> <p>t-time ~ヒト・モノ・コトとの新たな出会い~</p> <p>丹原・西条地域を学びのフィールドとした「課題発見→解決プロセス」を通して、「推進力」「創造力」「協働力」「地域力」を養うことを目的とした教育プログラム。</p> 	<p></p> <p>既存の校則やルールに対して生徒が主体となり、先生・保護者・地域等の関係者との対話を重ね納得解をつくることを通して、課題発見・合意形成・意思決定をする力を育てるプロジェクト。</p> 	<p></p> <p>周桑商工会青年部を中心に、地域の方々と協働し、4年前に廃止となった地域の伝統的なお祭り「丹原七夕まつり」に代わる行事を企画・運営するプロジェクト。</p> 

丹原高校に生まれた一人ひとりの“やってみたい”（一部）

【大使に私たちの考えを伝えたい！】

令和5年3月、急遽、在オーストリア日本国大使の「総合的な探究の時間」への参観が決まり、来校されました。その際、国際分野で研究をしてきた生徒より、「**大使に私たちの考えを伝えたい。大使へのプレゼン機会をつくりたい。**」との申し出があり、企画、実現に至りました。後日、該当生徒と面談し、今回の挑戦の理由を伺ったところ、「総合的な探究の時間でのプレゼン発表（全校生徒対象）に挑戦し、いろいろな人から評価、提案を受けたことがきっかけで、**もっと自分の考えを伝えることに挑戦したい**と思うようになったからです。」と話してくれました。



【参加者に「自分たちの良さ」を再認識する時間を提供したい！】

令和4年11月、本校を会場に愛媛県高等学校国際教育研究協議会研究会が実施され、本校生徒の運営による研究協議を企画・実践しました。担当生徒より、「**協議参加者が『自分たちの学校の良さ』を再確認する時間を提供したい。**」との申し出があり、その実現に向けて担当生徒・教頭・教員による企画会議を行いました。その結果、①各校ごとの協議時間を設けること、②**各校の協議進捗を、本校生徒によるインタビューで共有するとともに、iPad、ロイノートを活用して、会場前方スクリーンに常時投影し、共有すること**、③本校生徒が協議のファシリテーターとして、各校の協議を活性化させることの3つを柱に、協議運営を行うことになりました。実践後、企画担当した生徒からは、「**私たちのアイデアが実際に活用され、本番では自分たちのイメージどおりになったので、とてもうれしく充実感を感じることができた。**」と話してくれました。



【今までにない&おもしろい学校案内を作ってみよう！】

令和5年4月、学校案内の制作に関わる先生たちが集まり、ミーティングを行いました。「**今の丹原高校、そしてこれからの丹原高校を表現する『今までにない』&『おもしろい』学校案内をつくろう！**」をテーマに、ディスカッションを行い、箱型の学校案内が生まれました。蓋の裏には、「**今年の学校案内は、ただの箱です。丹原高校が取り組んでいることをもっと知ってほしい、このかたちにしました。丹原高校では、生徒の「やってみたい」気持ちを大切に育てています。ただの箱をどのように使うか、どのように変化させるかは、皆さん次第。丹原高校の中でどのように過ごすか、どのように変化を楽しむか。生徒から生まれた「やってみたい」に対し、学校全体で取り組んでいくのが、丹原高校です。**」というメッセージが記載されました。先生たちも“やってみたい”を楽しんでいます。



私たち丹原高校は、これからもプロジェクト「tanomo」を継続、発展させていきます。

丹原高校という場所が、高校生が学びを広げ、深める場所であるとともに、

“やってみたい”のプラットフォームとして発展し、

丹原高校に関わる全ての人の“やってみたい”を育て、叶える場所に。

今治東中等教育学校SFキーパーズ

昨年度から、地域の方と一緒に取り組んでいる今治市・桜井海岸の歴史的景観“白砂青松”の保全・活用の内容を紹介します。

1. 廃棄松葉の活用

(1) バイオ燃料づくり

多くの方のクラウドファンディングへの協力により購入したペレット製造器・乾燥機を使って、廃棄松葉からバイオ燃料をつくっています。キャンプでの利用はもちろん、災害時に役立ててもらえるように、真空パックに入れて長期保存できるようにしました。



(2) ビジフェス EHIME2023 への参加

廃棄松葉のバイオ燃料化を持続可能な取組にする方法の一つとして、将来的に“商品”として販売する方法を考えました。そこで、商品販売に必要な知識を得るために、ビジフェス EHIME2023 にエントリーすることにしました。大学生にアドバイスをもらいながら、既存の木質ペレットと比較しながら、松葉ペレットのビジネスプランをまとめました。



(3) 農業分野での活用

① 廃棄松葉を利用した有機肥料づくり

学校の敷地を利用して、松葉ペレットが作物の成長に与える影響について調べています。夏休み中は水やりができなかったのですが、松葉ペレットを敷いていたところだけが枯れずに実をつけており、地表の保湿効果があることが分かりました。



文化祭では、育てたサツマイモを松葉ペレットで焼き芋をして、一般の方に食べてもらいました。



②雑草抑制効果の検証

今治市農林水産課の協力を得て、11月にタマネギ畑に松葉ペレットを撒きました。マルチシートで覆った部分と松葉ペレットを撒いた部分とで雑草抑制効果を比較する予定です。



2. 桜井海岸の利用促進

「遊ぼう 学ぼう つなげよう クリーンフェスタ in 唐子浜」イベントの企画・運営

このイベントでは、参加者がビーチクリーン（環境美化）、フレスコボール（健康増進）、自然観察会（環境教育）の3つの体験活動を行います。イベントを通して、桜井海岸の素晴らしい環境を守っていくために必要なことを、楽しみながら学ぶことを目的としました。

3つの体験活動の指導は、地域の専門家の方をお願いし、私たちは、イベント準備（共催者との打ち合わせ、パンフレットの作成、参加定員45名を集めるための告知、地域経済の活性化を目的とする参加者全員分の特典集め）と、当日のイベント運営を行いました。約2か月かけて準備して、6月に初めて実施し、12月に2回目のイベントを実施することができました。



共催団体・個人) ビーチクリーンしまなみ しまなみフレスコボールクラブ 愛媛県環境マイスター 小澤潤氏

私たちの活動は始まったばかりです。継続していけるように頑張りたいと思います。

MEMO



かかわりをチカラに つながりをカタチに

地域教育実践東予ブロック集会実行委員会

委員長 今井 博志 副委員長 越智 秀雄

実行委員

明瀬 貴子・石原 善久・一色 司・印南 友統・小澤 潤・越智 健司
関 福生・高野 智志・谷口 晃・處 淳子・西山 博・原 慶子
毛利 雅彦・山中 健司・吉田 和仁・渡邊 靖

集会運営協力委員

越智 洋子・篠原 茂・西坂 淳・柳瀬 剛・西条市中央公民館の皆様

- お問い合わせ先 ●
地域教育実践東予ブロック集会実行委員会事務局
(東予教育事務所地域教育推進課内) 担当：明瀬
TEL 0897-56-1300(内線 457)
FAX 0897-56-3176